

保証書

持込修理 無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛けなどによる故障及び損傷
 - (二) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換
 - (ホ) 本書のご提示がない場合
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売店シールや領収書でも未記入項目の代用となります。)
 - (ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
 - (チ) 一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

| | | | | |
|-----|---|----|---------|-----------------------|
| 商品名 | ポータブルAM/FMステレオラジオ カセットレコーダー USB再生・録音対応 | | | ★お買い上げ日： 年 月 日 |
| 型番 | RCS-SU950R | 品番 | 07-8925 | 保証期間：本体1年間(お買い上げの日から) |
| お客様 | ふりがな ★お名前 様 | | | |
| | ★ご住所 〒 — 電話 () | | | |

修理メモ

| | | |
|-----|-----------|---|
| 販売店 | ★住所 店名 電話 | 印 |
|-----|-----------|---|

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとに
おいて無料修理をお約束するものです。

※この保証書によって保証書を発行している者(保
証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様
の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、
お買い上げの販売店または弊社修理ご相談セン
ターにお問い合わせください。

※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証
期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動
のために記載内容を利用させていただく場合があ
りますので、ご了承ください。

◎OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<https://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ

●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735

電話
受付 平日 9:00~17:00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ

電話
受付 048-992-3970 平日 9:00~17:00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

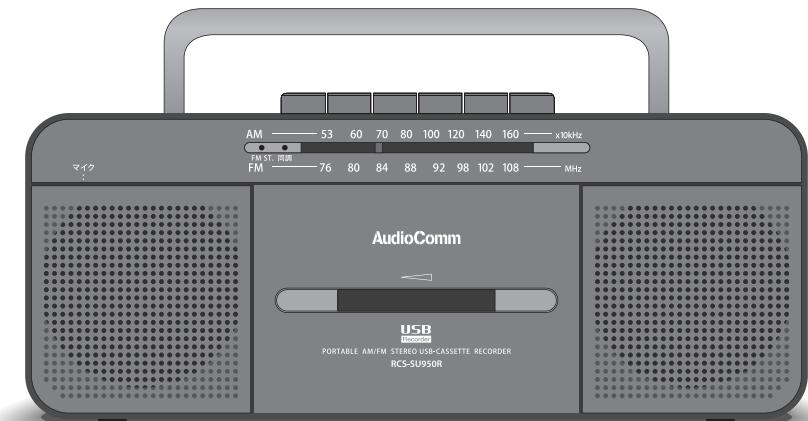
AudioComm®

ポータブルAM/FMステレオラジオ カセットレコーダー USB再生・録音対応

型番 :RCS-SU950R

保証書付 取扱説明書

USB Recorder USBフラッシュメモリーへの
ステレオ録音に対応!



このたびは、AudioComm®
ポータブルAM/FMステレオラジオカセットレコーダー USB再生・録音対応を
お買い上げいただき、誠にありがとうございました。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にご使用ください。また、お読みになった後も、
ご使用時にいつでも見られるよう大切に保管してください。

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

目次

| | |
|------------------------------|-------|
| 免責事項 | 2 |
| 著作権について | 2 |
| 安全上のご注意 | 2~4 |
| 電源について | 5 |
| ご使用になる前に（カセットテープについて） | 6~7 |
| ご使用になる前に（USB フラッシュメモリーについて） | 8 |
| 各部の名称 | 9 |
| ラジオを聞く | 10~11 |
| カセットテープを聞く | 11~12 |
| カセットテープに録音する | |
| 録音マイク（内蔵）からカセットテープに録音する場合 | 13 |
| ラジオ放送をカセットテープに録音する場合 | 14 |
| USB フラッシュメモリーにカセットテープの音を録音する | 15 |
| USB フラッシュメモリーにラジオ放送を録音する | 16 |
| USB フラッシュメモリーに録音マイクの音を録音する | 17 |
| USB フラッシュメモリーの音楽／音声ファイルを再生する | 18~19 |
| ヘッドホンの使いかた | 20 |
| お手入れのしかた | 20 |
| 故障かなと思ったら | 21 |
| 主な仕様 | 22 |
| 保証書とアフターサービスについて | 22 |
| 保証書 | 裏表紙 |

著作権について

放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープ、コンパクトディスクなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。従ってそれらから録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、重傷などを負う可能性が想定される内容です。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例



△記号は、注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
左図の場合は「感電注意」が描かれています。



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
左図の場合は「分解禁止」が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。

⚠ 警告

| | | | |
|---|---|--|--|
|  コンセントから抜く | 万一、煙が出ていて、変なにおいや音があるなどの異常を感じたら、すぐに本機の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く |  禁止 | 表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない ●火災・感電の原因となります。 |
| | ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。 |  禁止 | 本機の上に、例えば火のついたロウソクなど、火災の原因となるようなものを置かない ●火災の原因となります。 |
|  コンセントから抜く | 万一、内部に異物や水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜く |  禁止 | 狭い場所や壁に押し付けるなど、通気が妨げられる場所に設置しない。また、テーブルクロスやカーテンなどをかけて通気口をふさがない ●過熱して火災・感電の原因となります。 |
| | ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。 | | |
|  接続場所を選ぶ | 電源プラグはすぐに手が届く位置にある家庭用コンセントに接続する ●手が届きにくい場所にあると、異常があったときに対応が遅れるおそれがあります。 |  乾電池に注意 | 乾電池は幼児の手の届かないところへ置く。本機から乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が誤って飲み込むことがないようにする ●万一、お子様が飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。 |
| | ●本機の電源を切っただけでは、完全に電力を遮断できません。異常が生じたときには、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。 |  禁止 | 本機や電源コードの上に重いものをのせたり、コードの上に本機をのせない ●コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。 |
|  分解禁止 | 本機を分解、修理、改造しない ●火災・感電の原因となります。 |  禁止 | 電源コードを敷物などで覆わない ●気づかず重いものをのせてしまい、火災・感電の原因となります。 |
|  禁止 | 海外では使用しない。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない ●火災の原因となります。 ●この機器を使えるのは日本国内のみです。 |  禁止 | 本製品を使用時は必ず付属の電源コードを使う。 また、付属の電源コードは絶対に他の製品には使用しない ●付属の電源コードは本製品専用です。 ●製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となります。 |
|  コードの使用中止 | 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、使用を中止する ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●修理をご依頼ください。 |  禁止 | 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない ●コードが破損して火災・感電の原因となります。 |
|  水かけ禁止 | 浴室やシャワー室など、湿度の高いところや水はねのある場所では使用しない ●火災や感電の危険があります。 |  禁止 | |
|  接触禁止 | 雷が鳴り始めたら、安全のため本機及び電源コードに触れない | | |

⚠ 注意

| | | | |
|--|---|---|--|
|  禁止 | 調理台や浴室、加湿器のそばなど、湯煙や湯気が当たるような場所に置かない ●火災・感電の原因となることがあります。 |  コンセントから抜く | お手入れの際には安全のため電源プラグをコンセントから抜く ●感電の原因となることがあります。 |
|  禁止 | 本機の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かない ●発火・感電の原因となったり、けがや破損のおそれがあります。 |  禁止 | 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない ●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ●必ずプラグを持って抜いてください。 |
|  禁止 | ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない ●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。 |  アンテナに注意 | 持ち運びするときは、アンテナを縮める ●伸ばしたまま運ぶとアンテナが引っ掛かったり、当たったりなどしてけがの原因になることがあります。 |
|  禁止 | 電源コードを熱器具に近づけない ●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。 |  乾電池に注意 | 乾電池は、直射日光、火などの過度の熱にさらさない ●液もれしたり、性能や寿命を低下させるおそれがあります。 |
|  禁止 | 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない ●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。 |  コンセントから抜く | 移動させるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く ●コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。 |
|  禁止 | 湿気やほこりの多い場所に置かない ●火災・感電の原因となることがあります。 |  音量に注意 | お子様がカセットドア内に手を入れないように注意する ●けがの原因となることがあります。 |
|  禁止 | 電源を入れる前には、音量を最小にする ●突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。 |  音量に注意 | ヘッドホン使用時は音量を上げすぎない ●耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。 |
|  禁止 | 乾電池は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示どおり正しく入れる ●間違えると乾電池の破裂、液もれにより火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。 |  コンセントから抜く | 旅行などで長期間本機を使わないとときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、乾電池も取り外す ●火災・液もれの原因となることがあります。 |
|  禁止 | 指定以外の乾電池は使用しない。 また、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使わない ●乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。 |  禁止 | 電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、パソコン、モニターなど)に近づけない ●電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。 |
|  禁止 | ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない ●感電の原因となることがあります。 | | |

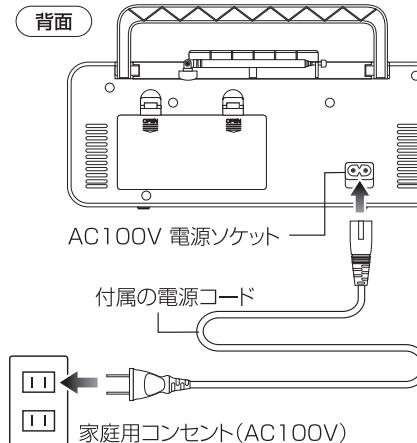
電源について



- 電源コードを抜き差したり、乾電池を出し入れするときは、電源が切れた状態で行なってください。
- 電源を入れる前に音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

家庭用電源を使う場合

- 付属の電源コードで本機のAC100V電源ソケットと家庭用コンセントを接続します。
- 乾電池が入っている場合でも、電源コードを接続すると自動的にAC電源に切り替わります。
- 本機を使用しないときは電源コードをコンセントから外してください。



※付属の電源コード(ACコード)は本製品専用です。家庭用電源でご使用の際には、必ず付属の電源コード(ACコード)をお使いください。また、付属の電源コード(ACコード)は絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。

※長期間使用しないときや、長期間電源コード(ACコード)で使用する場合は、必ず乾電池を取り出してください。乾電池から微弱な電流が流れるため、電池を消耗させるだけでなく液もれの原因となります。

乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂等の事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

警告

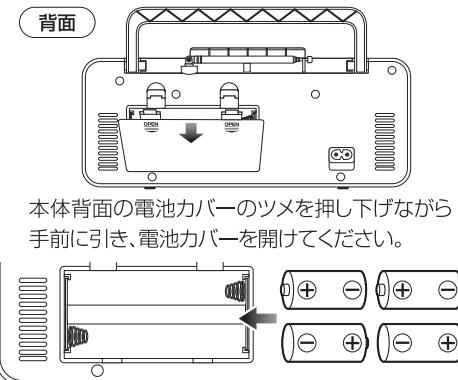
- ・火中への投入、加熱、分解をしない
- ・取り外した乾電池を幼児に触らせない
- ・ショートさせない
- ・直射日光や火などの過度の熱にさらさない

注意

- ・ $\oplus\ominus$ の表示どおりに入れる
- ・指定以外の乾電池を入れない
- ・使用推奨期限内の乾電池を使用する
- ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池と一緒に入れない
- ・使い切った乾電池はすぐに取り出す
- ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

乾電池を使う場合

- アルカリ乾電池のご使用をお薦めします。
- 電池カバーを外し、乾電池の \oplus と \ominus を間違えないように、単2形乾電池4本を入れます。
- ※長時間使用するときや大切な録音をするときは、付属の電源コードを使用してください。



单2形乾電池×4本(別売)

コイルばねのあるほうが \oplus です。 \ominus 側から先に装着してください。

ご使用になる前に(カセットテープについて)

本機で使用できるカセットテープ

C-60(再生／録音時間が60分)以内のノーマルテープ(TypeI)をお使いください。



C-60以内のノーマルテープ(TypeI)

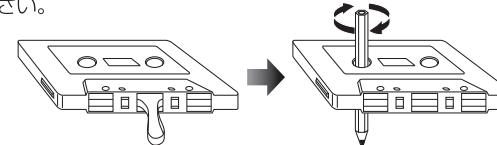


ハイポジションテープ(TypeII)
メタルテープ(TypeIV)
エンドレステープ
C-60を超えるノーマルテープ

- ハイポジションテープ(TypeII)やメタルテープ(TypeIV)、エンドレステープは使えません。
- ノーマルテープの場合でも、C-60を超える長時間テープは通常のカセットテープに比べて非常に薄いため、伸びたり、回転部分に巻き込まれるなどのトラブルの原因になりますので使わないでください。

カセットテープを聴く前の準備

- テープのたるみは、テープの巻きつきや切断の原因になります。
- テープがたるんでいないかどうか確かめ、たるんでいる場合は図のように鉛筆などで必ず直してからご使用ください。
- テープの損傷を避けるため、大切なテープやオリジナルテープは必ずダビングし、ダビングしたテープを本機でお使いください。



本機でカセットテープを操作するときのご注意

- 再生中に早送り／巻戻しをするときや、早送り／巻戻しから再生に戻るときなど、テープが動いているときは、必ず停止／取出しボタンでテープ動作をいったん停止させてから、次の操作を行なってください。テープのからまりや、故障、破損の原因となります。
- 再生／録音状態のまま電源を切らないでください。テープが回転部分に密着したままになるので、からまりや巻きつきの原因となります。

セミオートストップ機能について

本機にはセミオートストップ機能があり、録音／再生時にテープが終わりまで行くと自動的に止まり、押し込まれていた操作ボタンも自動的に上がりります。

早送り／巻戻しでは自動的に止まりません。そのまま放置すると故障の原因になりますので、必ず停止／取出しボタンで止めてください。

カセットテープ保管上の注意

使用後は必ず本機からカセットテープを取り出し、ケースに入れて保管してください。長期間入れたままになると、からまりや巻きつきによって、本機及びカセットテープの故障、破損の原因となります。

ご使用になる前に(カセットテープについて) つづき

カセットテープへの録音機能と録音する前の準備

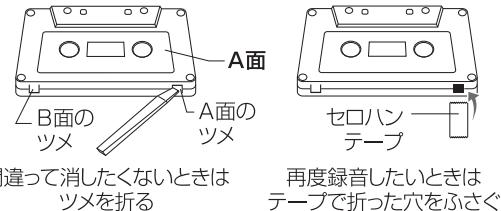
- カセットテープとUSBフラッシュメモリーに同時に録音することはできません。
- USBフラッシュメモリーからカセットテープへの録音はできません。
- 録音レベルは自動調節で一定に録音されますので、音量調整ツマミを操作しても録音に影響がありません。
- 大切な録音をするときは、付属の電源コードのご使用をお薦めします。

録音する前の準備

- テープがたるんでいないかどうか確かめ、たるんでいる場合はP.6「カセットテープを聴く前の準備」を参照して鉛筆などで必ず直してからご使用ください。
- ツメを折ってあるテープは録音ボタンの操作ができません。無理に押したりすると故障する場合もありますのでご注意ください。
- カセットテープの両端にあるリーダーテープ部分(透明部)は録音ができません。録音前にこの部分を送っておいてください。

大切な録音を消さないために

保存しておきたいテープの場合、カセットのうしろ側にある「ツメ」を折ておくと、間違って大切な録音を消去せずにすみます。再び録音したい場合は、折ったツメの部分にセロハンテープなどを貼りつけてください。



間違って消したくないときは
ツメを折る

再度録音したいときは
テープで折った穴をふさぐ

ご使用になる前に(USBフラッシュメモリーについて)

本機で使用できるUSBフラッシュメモリー

USBフラッシュメモリーは32MB~8GBまでのタイプを推奨します。

- 上記を超える容量のUSBフラッシュメモリーを使用すると、読み込みに時間がかかる場合があります。
- すべてのUSBフラッシュメモリーの動作を保証するものではありません。

ファイル形式について

- | | |
|-----------|--|
| 再生 | …本機ではMP3形式の音楽／音声ファイルを再生できます。ただし、DRM(デジタル著作権管理)ファイルの再生はできません。 |
| 録音 | …本機での録音はMP3(128kbps)ステレオとなります。 ※ただし、AMラジオの録音、FMモード(モノラル受信)でのラジオ録音、録音マイクを使った録音、モノラル音源のカセットテープの録音は、モノラル音声となります。 |

本機でUSBフラッシュメモリーを操作するときのご注意

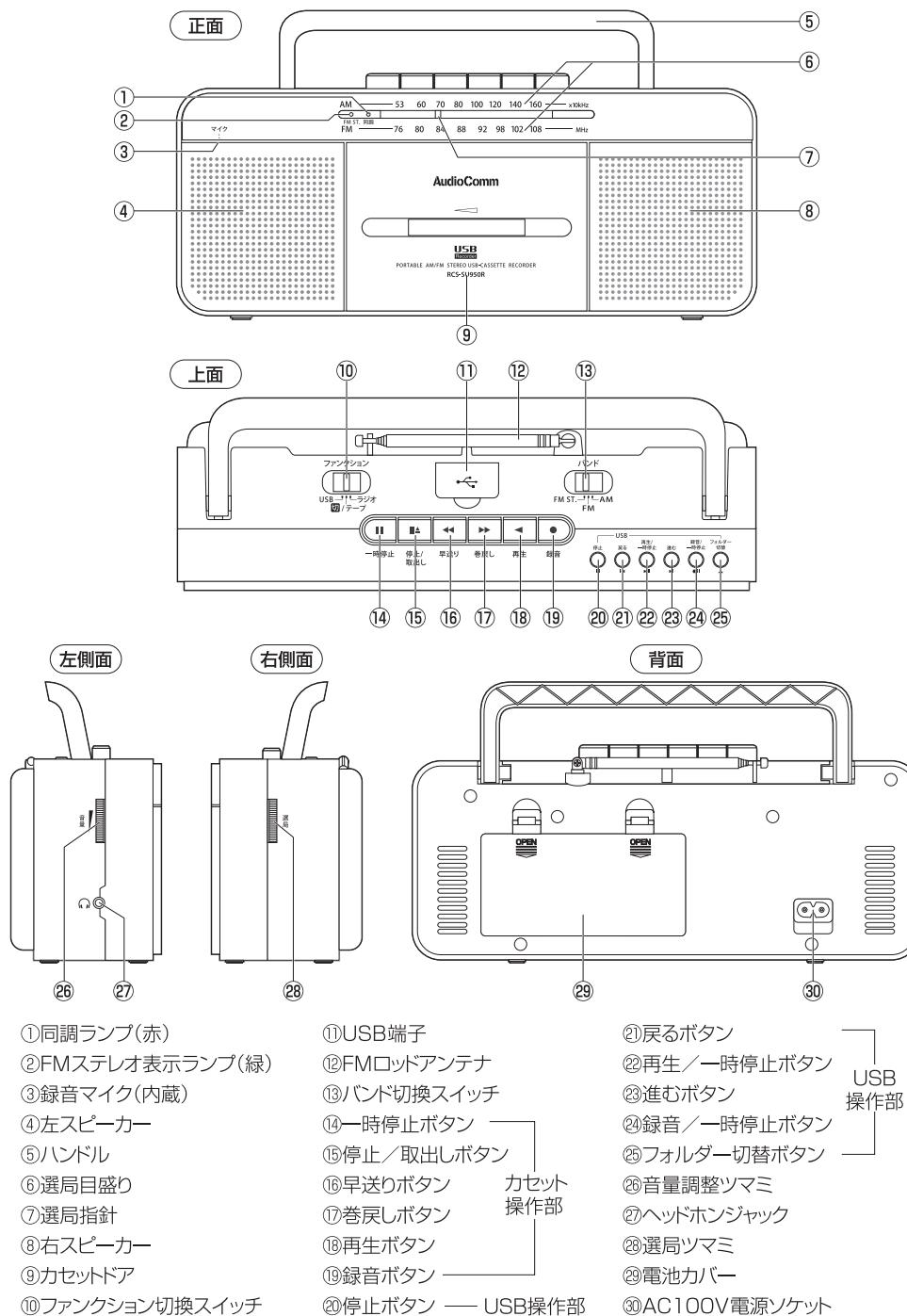
- 重 要**
- 不具合の原因となりますので、動作中のUSBフラッシュメモリーには触れないでください。
 - 抜き差しする際は、必ず電源が切れている状態(ファンクション切換スイッチ='切/テープ')で行ってください。電源が入っているときに抜き差しすると、データが破損するおそれがあります。

- USB端子はUSBフラッシュメモリーによる再生・録音専用です。充電機能は搭載されておりません。
- 市販のUSBハブは使えません。USBフラッシュメモリーを直接USB端子に差し込んでご使用ください。
- USBフラッシュメモリーの仕様／フォーマット型式やご使用状況により、正常に再生・録音されなかったり、またはご使用になれないことがあります。
- USBフラッシュメモリー内にあるファイルを本機で消去することはできません。パソコンなどで操作してください(詳しくはパソコンに付属の取扱説明書などをご参照ください)。
- 大切な録音は、パソコンのハードディスクやCD-Rなどにコピーを取ることをおすすめします。
- USBフラッシュメモリーのフォーマット機能はありませんので、パソコンなどで行なってください(ファイルシステムFAT32対応)。

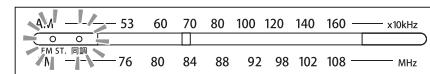
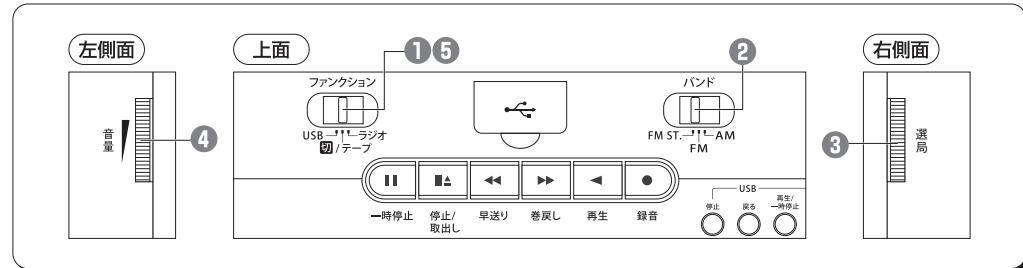
USBフラッシュメモリーへの録音について

- ラジオからUSBフラッシュメモリーに録音時、受信環境などによりノイズが入る場合があります。できるだけ良好な受信状態のもとで録音してください。AMラジオは、機能上ノイズの影響を受けやすく、録音にはノイズが発生することをご了承ください。
- USBフラッシュメモリーとカセットテープに、ラジオ放送を同時に録音することはできません。
- 録音／一時停止ボタンを押した後約5秒間は書き込み動作のため、他のUSB操作ボタンの操作はできません。
- 空き容量がないUSBフラッシュメモリーをご使用の場合、停止ボタンと再生／一時停止ボタンが約5秒間点滅後、自動的にファイル再生となります。
- 録音途中でUSBフラッシュメモリーの書き込み領域がなくなった場合、録音中のファイルは記録されません。
- 本機にはカレンダー／時計機能がありませんので、録音ファイルにはファイル番号と任意の時間データが記録されます。
- 録音レベルは自動調節で一定に録音されますので、音量調整ツマミを操作しても録音に影響がありません。
- 大切な録音をするときは、家庭用電源でのご使用をお薦めします。

各部の名称



ラジオを聴く



同調すると、同調ランプが赤く点灯してお知らせします。

※電波の状態によっては、点灯しない場合があります。

また、「FM ST.」を選択している場合は、良好なステレオ電波を受信するとFMステレオランプが緑で点灯します。

電波が弱くFMステレオで雑音が多い場合は、「FM」(モノラル音声)にすると、ノイズが軽減されます。

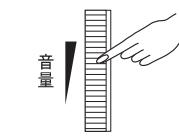
- 4 音量調整ツマミを回して、お好みの音量に調整します。

音量を上げすぎないでください。周囲の迷惑になるだけでなく、長時間続けて聴くと聴力に悪い影響を及ぼすおそれがあります。

- 5 ラジオを切るときは、ファンクション切換スイッチを「切/テープ」に合わせます。

FM補完放送「ワイドFM」について

本機はFM周波数帯域が76~108MHzまであり、FM補完放送「ワイドFM」に対応しています。FM補完放送「ワイドFM」とは、AM放送局の放送区域において難聴対策や災害対策のために新たにFM放送用に割り当てられた90.1~94.9MHz周波数帯域を用いて補完的にAM番組を放送することです。FM補完放送「ワイドFM」の開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

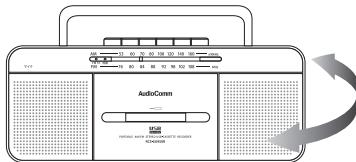


ラジオを聴く(つづき)

受信状態を良くするには

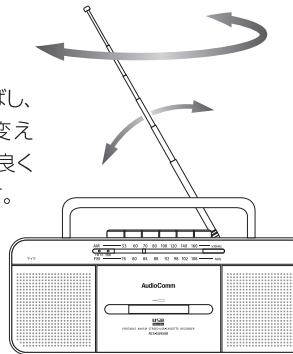
●AM放送の受信

本機にアンテナが内蔵されています。本機を動かして最も受信状態の良い向きを見つけてください。室内の場合、窓際のほうが良く受信できます。



●FM放送の受信

ロッドアンテナを伸ばし、長さ、方向、角度を変え、受信状態が最も良くなるように調節します。



ご注意

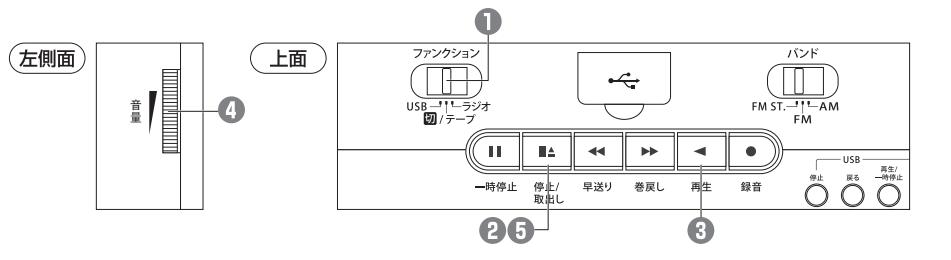
●テレビの近くでAMを受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機を離してご使用ください。

●持ち運ぶときは、目をついたり危険ですので、必ずFMロッドアンテナを縮めてください。

カセットテープを聴く



本機で再生できるカセットテープの種類やセミオートストップ機能、その他のヒントや注意事項は、P.6～7もあわせてご確認ください。

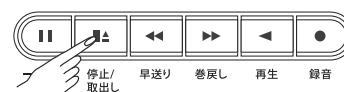
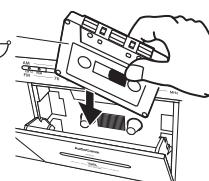


1 ファンクション切換スイッチを「切／テープ」に合わせます。



2 停止／取出しボタンを押してカセットドアを開け、カセットテープを正しく入れます。

C-60以内のノーマルテープ
(TypeI)



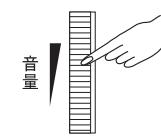
テープの見える側を上に、再生する面を手前にして入れ、カセットドアを手で押して閉めてください(テープは右から左へ走行します)。テープ装着後はカセットドアを確実に閉めてください。

3 再生ボタンを押すと、再生が始まります。



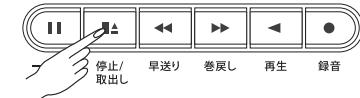
4 音量調整ツマミを回して、お好みの音量に調整します。

音量を上げすぎないでください。周囲の迷惑になるだけでなく、長時間続けて聴くと聴力に悪い影響を及ぼすおそれがあります。



5 停止／取出しボタンを押すと、再生が停止します。

カセットテープを取り出し、ケースに入れて保管してください。



カセットテープ操作ボタンの基本機能

| | |
|--------------|--|
| 一時停止(II) | 再生中に押すと、再生を一時停止します。もう一度押すと、再生を再開します。 |
| 停止／取出し(II) | 早送り・巻戻し・再生・録音中に押すとそれらの動作を停止します。停止中に押すとカセットドアが開きます。 |
| 早送り(FF) | 押すとテープを左側のリールに早送りします。 |
| 巻戻し(Reverse) | 押すとテープを右側のリールに巻戻します。 |
| 再生(Play) | 押すとテープを再生します。 |

●テープ走行動作中に他動作へ移る際は、必ず停止／取出しボタンでテープ動作を停止させてから行ってください。テープのからまりや、故障、破損の原因になります。

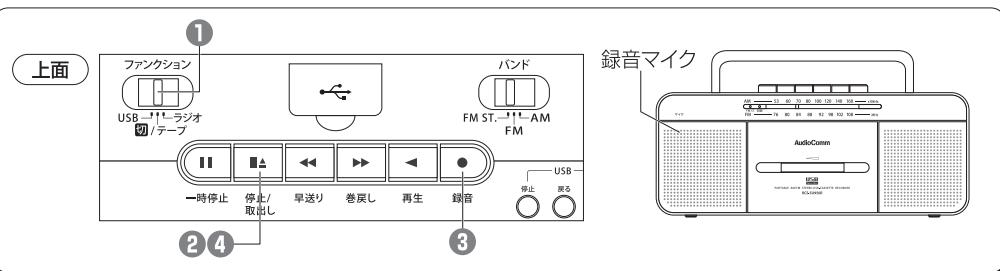
●本機はセミオートストップ機能(録音／再生時にテープが終わりまで行くと自動的に停止する機能)がありますが、早送り／巻戻しでは自動的に止まりません(ボタンも戻りません)。故障の原因となりますので、必ず停止／取出しボタンで止めてください。

カセットテープに録音する



- 本機で録音できるカセットテープの種類や録音を始める前の準備、その他のヒントや注意事項は、P.6～7もあわせてご確認ください。
- USBフラッシュメモリーからカセットテープへの録音はできません。

録音マイク(内蔵)からカセットテープに録音する場合



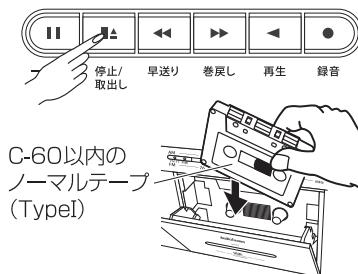
1 ファンクション切換スイッチを「切／テープ」に合わせます。



2 停止／取出しボタンを押してカセットドアを開け、カセットテープを正しく入れます。

テープの見える側を上に、録音する面を手前にして入れ、カセットドアを手で押して閉めてください(テープは右から左へ走行します)。

テープ装着後はカセットドアを確実に閉めてください。



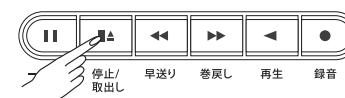
3 録音マイク部を音源に向け、録音ボタンを押すと、録音が始まります。

再生ボタンも同時に押し込まれます。



4 録音を終えるときは、停止／取出しボタンを押します。

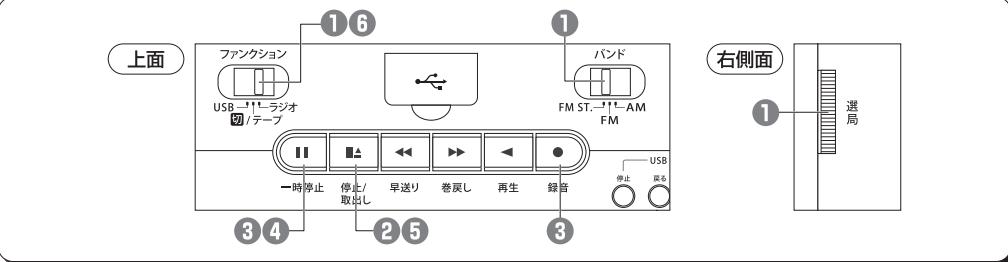
カセットテープを取り出し、ケースに入れて保管してください。



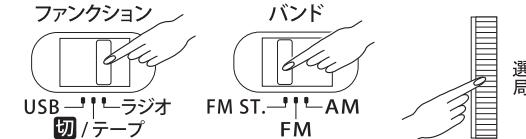
ヒントとご注意

- 録音レベルは自動調節で一定に録音されますので、音量調整ツマミを操作しても録音に影響がありません。
- 録音マイクを使った録音は、モノラル音声となります。
- カセットテープとUSBフラッシュメモリーに同時に録音することはできません。

ラジオ放送をカセットテープに録音する場合



1 ファンクション切換スイッチを「ラジオ」に合わせた後、バンド切換スイッチと選局ツマミを使って録音したい放送局を受信します。
詳しくはP.10～11を参照してください。



2 停止／取出しボタンを押してカセットドアを開け、カセットテープを正しく入れます。

テープの見える側を上に、録音する面を手前にして入れ、カセットドアを手で押して閉めてください(テープは右から左へ走行します)。

テープ装着後はカセットドアを確実に閉めてください。



3 一時停止ボタンを押した後、録音一時停止状態にします。

録音ボタンを押すと再生ボタンも同時に押し込まれます。



4 もう一度、一時停止ボタンを押すと録音が始まります。



5 録音を終えるときは、停止／取出しボタンを押します。



6 使用後はファンクション切換スイッチを「切／テープ」に合わせます。

カセットテープを取り出し、ケースに入れて保管してください。



ヒントとご注意

- 受信環境などによりノイズが入る場合があります。できるだけ良好な受信状態のもとで録音してください。
- 録音レベルは自動調節で一定に録音されますので、音量調整ツマミを操作しても録音に影響がありません。
- カセットテープとUSBフラッシュメモリーに同時に録音することはできません。

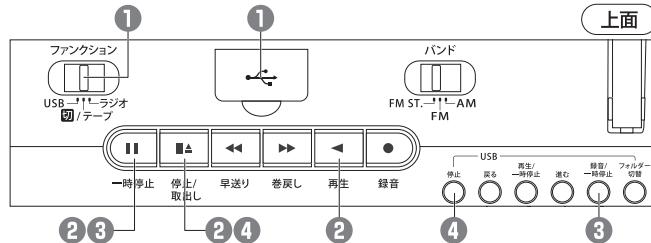
USBフラッシュメモリーにカセットテープの音を録音する

POINT

カセットテープの音源がステレオ音声の場合、本機ではステレオ音声のままUSBフラッシュメモリーに録音できます。音源がモノラルの場合はモノラル音声での録音となります。



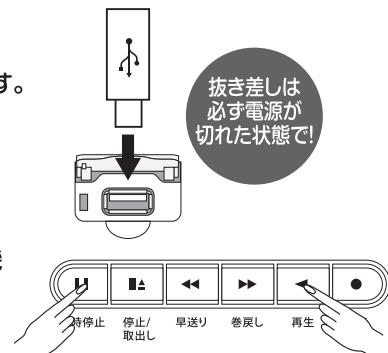
本機で録音できるUSBフラッシュメモリーの規格やカセットテープの種類、録音を始める前の準備、その他のヒントや注意事項は、P.6~8もあわせてご確認ください。



USBフラッシュメモリーの仕様・容量・使用状況により、正常に機能しない場合があります。その際は、再度セットし直すか、リセット操作（ファンクション切換スイッチを「切／テープ」にした後、再度「USB」を選択する）を行なってください。

1 ファンクション切換スイッチが

「切／テープ」になっていることを確かめた後、USBフラッシュメモリーをUSB端子に差し込みます。USB端子のカバーを開け、接続部の向きを確かめて正しく差し込んでください。



2 録音元となるカセットテープを入れます。

その後、録音を始めたい箇所までテープを送り、再生ボタンと一時停止ボタンを押します=再生待機
P.11~12を参照して操作してください。

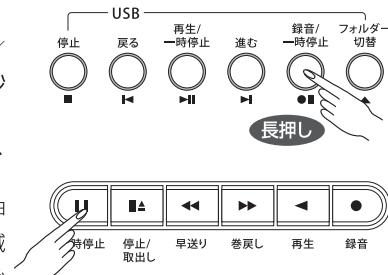
3 USBの録音／一時停止ボタンを長押しし、

その後カセットの一時停止ボタンを押します
=録音開始

●USBフラッシュメモリーの容量や使用量によって、録音／一時停止ボタンを押してから録音開始まで2秒～数十秒かかることがあります。

●録音／一時停止ボタンを長押しすると、ボタンが赤く点灯し、1回点滅した後に録音が始まります（録音中は点灯します）。

●録音を一時停止するときは：録音／一時停止ボタンを押してください（一時停止中は録音／一時停止ボタンが点滅し、録音動作は止まりますがテープの再生は進みます）。もう一度録音／一時停止ボタンを押すと録音を再開します（点灯）。



4 録音を終えるときは、USBの停止ボタン、

またはカセットの停止／取出しボタンを押します。

●USBの停止ボタンを押した場合：録音を停止しますが、テープの再生は続きます。

●カセットの停止／取出しボタンを押した場合：テープの再生とUSBフラッシュメモリーへの録音の両方が同時に止まります。



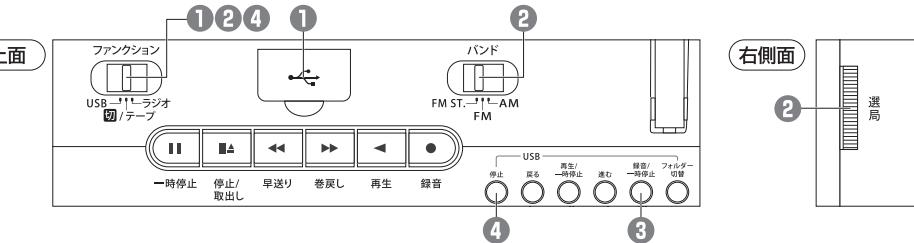
USBフラッシュメモリーにラジオ放送を録音する

POINT

「FM ST.」（FMステレオ）にて受信中の場合、本機ではステレオ音声のままUSBフラッシュメモリーに録音できます。それ以外の「FM」「AM」の場合はモノラル音声での録音となります。

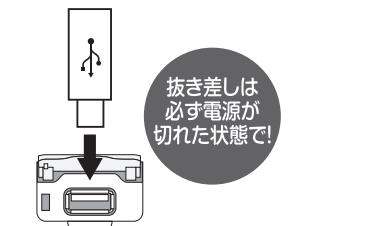


本機で録音できるUSBフラッシュメモリーの規格や録音を始める前の準備、その他のヒントや注意事項は、P.8もあわせてご確認ください。



1 ファンクション切換スイッチが

「切／テープ」になっていることを確かめた後、USBフラッシュメモリーをUSB端子に差し込みます。USB端子のカバーを開け、接続部の向きを確かめて正しく差し込んでください。



2 ファンクション切換スイッチを「ラジオ」に

合わせ、バンド切換スイッチと選局ツマミを使って録音したい放送局を受信します。

P.10~11を参照して操作してください。



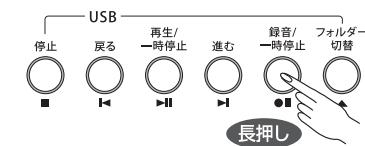
3 USBの録音／一時停止ボタンを

長押しします=録音開始

●USBフラッシュメモリーの容量や使用量によって、録音／一時停止ボタンを押してから録音開始まで2秒～数十秒かかることがあります。

●録音が始まると録音／一時停止ボタンが赤く点灯します。

●録音／一時停止ボタンを短く押した場合、ボタンは点灯しますが、実際にはラジオ放送が録音されないことがありますので、必ず長押ししてください。



●録音を一時停止するときは：録音／一時停止ボタンを押してください（一時停止中は録音／一時停止ボタンが点滅します）。もう一度録音／一時停止ボタンを押すと録音を再開します。

4 録音を終えるときは、停止ボタンを押します。

その後、ファンクション切換スイッチを

「切／テープ」に合わせます。



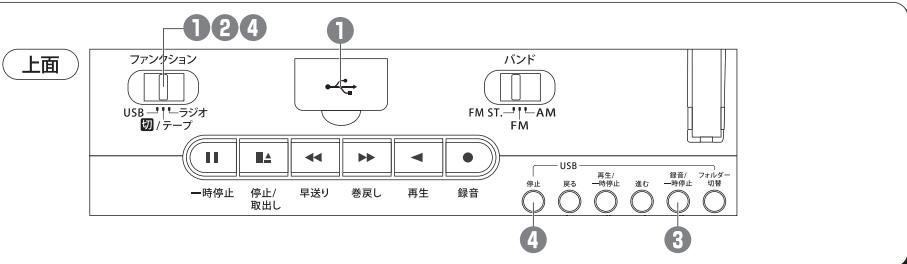
USBフラッシュメモリーに録音マイクの音を録音する

POINT

録音マイクを使った録音はモノラル音声となります。



本機で録音できるUSBフラッシュメモリーの規格や録音を始める前の準備、その他のヒントや注意事項は、P.8もあわせてご確認ください。



1 ファンクション切換スイッチが「切／テープ」になっていることを確かめた後、USBフラッシュメモリーをUSB端子に差し込みます。

USB端子のカバーを開け、接続部の向きを確かめて正しく差し込んでください。

2 ファンクション切換スイッチを「USB」に合わせます。

音楽(音声)ファイルを含むUSBフラッシュメモリーの場合、USBフラッシュメモリー内のファイルが自動的に再生されます。その場合は停止ボタンを押して再生を停止してください。

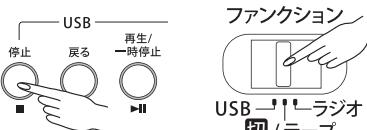
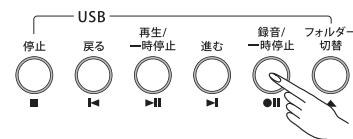
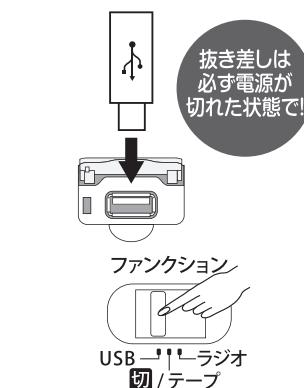
3 USBの録音／一時停止ボタンを押します =録音開始

●USBフラッシュメモリーの容量や使用量によって、録音／一時停止ボタンを押してから録音開始まで2秒～数十秒かかることがあります。

●録音が始まると録音／一時停止ボタンが赤く点灯します。

●録音を一時停止するときは：録音／一時停止ボタンを押してください(一時停止中は録音／一時停止ボタンが点滅し、録音動作は止まりますがテープの再生は進みます。もう一度録音／一時停止ボタンを押すと録音を再開します。

4 録音を終えるときは、停止ボタンを押します。 その後、ファンクション切換スイッチを「切／テープ」に合わせます。



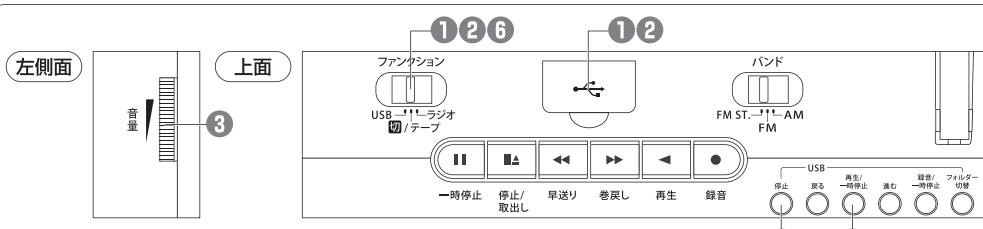
ご注意

USBフラッシュメモリーを挿入しない状態(停止点滅)では電源が切れていません。ご使用にならない場合は、必ずファンクション切換スイッチを「切／テープ」にして電源を切ってください。

USBフラッシュメモリーの音楽／音声ファイルを再生する

ヒントとご注意

- 本機にてUSBフラッシュメモリーに録音したファイルは、自動作成された「REC」フォルダーに収められています。パソコンなどにてコピーした音楽／音声ファイル(フォルダー)と、本機での録音ファイル(フォルダー)の両方を含むUSBフラッシュメモリーを再生する場合は、フォルダーアクセスボタンを押すごとに、フォルダーの切り替えができます(再生中のフォルダーは、ステップ②の「ヒント」で解説している、再生／一時停止ボタンの色で判別できます)。
- MP3以外のファイルを含むUSBフラッシュメモリーを使用した場合、認識されない、または正常に再生できないことがあります。パソコンなどで確認し、MP3形式の音楽／音声ファイルだけを記録したUSBフラッシュメモリーをご使用ください。
- 本機はファイル／フォルダー(階層)が作成された順に、新しいファイルから再生します。従ってパソコンなどでファイル名を変更しても再生順は変わりません。
- USBフラッシュメモリーの仕様／フォーマット形式やご使用状況により、正常に再生されない、またはご使用になれることがあります。
- DRM(デジタル著作権管理)ファイルの再生はできません。
- 本機で再生できるUSBフラッシュメモリーの規格、その他のヒントや注意事項は、P.8をご確認ください。

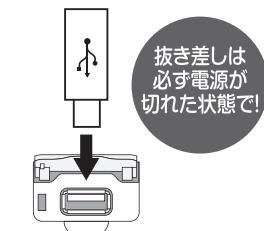


1 ファンクション切換スイッチが「切／テープ」になっていることを確かめた後、USBフラッシュメモリーをUSB端子に差し込みます。

USB端子のカバーを開け、接続部の向きを確かめて正しく差し込んでください。

2 ファンクション切換スイッチを「USB」に合わせます。

USBフラッシュメモリー内にファイルがある場合は自動的に再生が始まります。



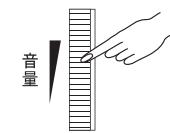
ヒント

- 本機で録音したファイルを再生時：再生／一時停止ボタンがピンク色に点灯
 - パソコンなどからコピーしたファイルを再生時：再生／一時停止ボタンが青色に点灯
 - USBフラッシュメモリー再生時の各ボタンの機能は次ページをご参照ください。
- ※USBフラッシュメモリー未接続でファンクション切換スイッチを「USB」に合わせた場合は、停止ボタンが赤く点滅します。
- ※再生は、再生中のフォルダー(REC／音楽)内で自動的にリピート(オールリピート)再生となります。

USBフラッシュメモリーの音楽／音声ファイルを再生する(つづき)

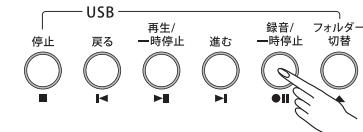
③ 音量調整ツマミを回して、好みの音量に調整します。

音量を上げすぎないでください。周囲の迷惑になるだけでなく、長時間続けて聴くと聴力に悪い影響を及ぼすことがあります。

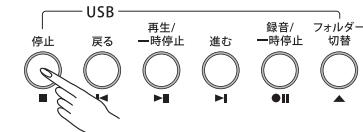


④ 再生を一時停止するときは、再生／一時停止ボタンを押します。

一時停止中は、再生／一時停止ボタンが点滅します。もう一度押すと再生を再開します。



⑤ 再生を停止するときは停止ボタンを押します。



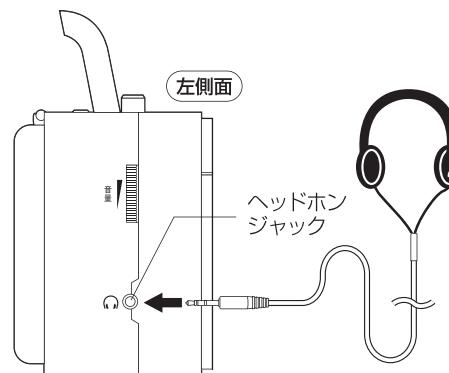
⑥ 終了するときは、ファンクション切換スイッチを「切／テープ」に合わせます。



USB操作ボタンの基本機能(再生時)

| | |
|--|---|
| | 再生や録音を停止します。 |
| | 録音順にひとつ新しいファイルに移動して再生します。押すたびに、さらに新しいファイルへ移動し、最後までいくといちばん古いファイルへ移動します。長押しすると約20倍速での早戻しサーチになります。ファイルの先頭まで戻ると同じファイルが再生されます。 |
| | 最新の録音ファイルが最初に再生されます。再生が終わると、録音順にひとつ古いファイルが再生されます。また、押すたびに再生と一時停止を繰り返します。 ※音楽ファイルの場合は、ファイル／フォルダー(階層)の記録時間の新しい順に再生されます。 |
| | 録音順にひとつ古いファイルに移動して再生します。押すたびに、次に古いファイルに移動し、最後までいくといちばん新しいファイルに移動します。長押しすると約20倍速での早送りサーチになります。ファイルの最後まで進むと次のファイルが再生されます。 |
| | 本機による録音フォルダー(RECフォルダー)とパソコンなどでコピーしたファイル(フォルダー)を切り替えます。いずれか一方しかない場合は、先頭のファイルへ移動後再生します。 |

ヘッドホンの使いかた



- 別売のステレオヘッドホン(Φ3.5mm ステレオミニプラグ)をヘッドホンジャックにつなぎます。ヘッドホンをつなぐと、スピーカーからの音は聞こえなくなります。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。
- 家庭用コンセントをご使用時、ヘッドホンでお聴きになるとハム音(ラジオなどの音声に混じって聞こえる「ブーン」という音)が耳障りになるときがあります。その場合は乾電池にてご使用になれるようお願いいたします。

お手入れのしかた

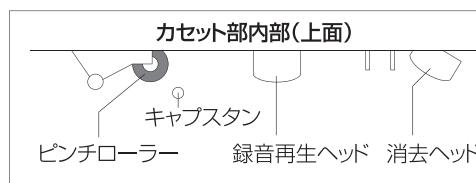
※お手入れの前には、あらかじめ電源コードや乾電池を外し、誤って電源が入らないようにしてから行なってください。

ヘッド部の清掃について

ヘッドやキャップスタン、ピンチローラーは長い間使っていると磁粉やゴミ、ほこりなどが付着して汚れます。汚れがひどくなると、音質が悪い、音が小さい、録音できない、前の音が消えないで残る、などの症状が出ます。また、テープが巻き込まれる原因になりますので、定期的にヘッド部を清掃してください。

清掃方法

カセットドアを開け、市販のクリーニングキットでヘッドやピンチローラー、キャップスタンなどの汚れを拭き取ります。なお、次に使うときは、内部についたクリーナー液が十分に乾いてから、カセットテープを入れてください。



録音再生ヘッドの消磁を行なうには市販の消磁器をお使いください。カセットタイプの消磁器をお使いになるときは、必ず再生ボタンのみを押し込んで消磁してください。詳しくはヘッド消磁器の説明書をご覧ください。
※本機の消去ヘッドはマグネットタイプになっていますので消磁しないでください。

キャビネットの清掃

- キャビネットや操作ボタンなどが汚れたたら、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後にから拭きをしてください。
- 電源コードのプラグにほこりがたまると、発火する危険があります。プラグをコンセントから抜いて時々清掃してください。
- シンナー・ベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。



シンナー、ベンジン、アルコールは
使用しないでください。

故障かなと思ったら

本機の調子がおかしいときは、サービスをご依頼になる前に以下の内容をもう一度チェックしてください。それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店、または、弊社修理ご相談センターにご連絡ください。

| 症状 | チェック項目 |
|-------|--|
| 共通部 | 電源コードがはずれて(ゆるんで)いませんか? |
| | 乾電池が正しく入っていますか? |
| | 乾電池が消耗していませんか? |
| | 音量が最小になっていませんか? |
| | ヘッドホンジャックにヘッドホンが差し込まれていませんか? |
| | ファンクション切換スイッチが適切な位置になっていますか? |
| | カセットドアが閉まらない |
| | 操作ボタンを押していませんか? |
| | テープ走行が不安定 |
| | テープが走行しない |
| カセット部 | 乾電池が消耗していませんか? |
| | ピンチローラーやキャブスタンが汚れていませんか? |
| | テープがたるんでいませんか? |
| | カセットドアがきちんと閉まっていますか? |
| | 録音しようとするカセットの誤消去防止用のツメが折れていませんか? |
| | カセットドアがきちんと閉まっていますか? |
| | カセットが入っていますか? |
| | ハイポジション(TypeII)やメタルテープ(TypeIV)を使っていませんか? |
| | 消去ヘッドが汚れていませんか? |
| | ヘッドやピンチローラー、キャブスタンが汚れていませんか? |
| ラジオ部 | テープがたるんでいませんか? |
| | 乾電池が消耗していませんか? |
| | ヘッドが汚れていませんか? |
| | 誤消去防止用のツメが折れていませんか? |
| | 乾電池が消耗していませんか?(新しい乾電池に替えてください。) |
| | 近くで携帯電話を使用していませんか?(携帯電話を本機から離して使用してください。) |
| | テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあります。またテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機をテレビから離してください。 |
| | USB端子に正しく接続されていますか? |
| | USBフラッシュメモリーに音楽(音声)ファイルが記録されていますか? |
| | USBフラッシュメモリー内のデータが壊れていませんか? |
| USB部 | MP3形式以外のデータが含まれていませんか。該当ファイルをパソコンなどで削除してみてください。 |
| | 間違った向きで差し込もうとしてませんか? |

主な仕様

| ■共通部 | |
|---|-------------------------------|
| 電源 | AC100V 50/60Hz |
| | DC6V 単2形乾電池×4本(別売) |
| 定格出力 | 600mW×2(r.m.s) |
| 定格消費電力 | 7W |
| スピーカー | 口径78mm×2個 |
| 周波数特性 | 100Hz～8kHz |
| ジャック | Φ3.5mmステレオミニヘッドホンジャック |
| 外形寸法 | 幅290×高さ116×奥行85mm (突起物含まず) |
| 質量 | 約1.15kg(乾電池含まず) |
| ■USB部 | |
| 対応規格 | USB2.0／8GB以下推奨 |
| 録音 | MP3／128kbps |
| フォーマット | 再生 MP3 |
| 対応データ構成 | 999ファイル／255フォルダー・6階層 |
| 【ご参考】8GBのUSBフラッシュメモリーの場合、C-60のカセットテープ約133本分を記録できます。ただし、使用状況によって異なります。 | |
| ■付属品 | |
| 専用電源コード、保証書付取扱説明書 | |

※乾電池での使用時間の目安は、新品の乾電池使用・音量中程度の場合の目安です。使用状況などによって異なります。
※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
※本書のイラストは実際の製品と一部異なる場合があります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。